

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名 はぐはぐ子ども村西都

保護者等数(児童数) 12名(13名)

回収数 12名

割合 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					スペースは確保されている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9		1	2	・土曜日の受け入れ中止や他の事業所では4年生以上は受け入れられないなどでは困ってしまう。保護者は毎日でも支援、サービスを受けたい。日中一時等とも合わせて毎日預かって欲しい。 ・土曜預かりが出来なくなった。	集団療育をベースとし、個別対応としては療法士と協力しながら専門性を高め継続していきたい。事業所の体制が整えば要望にお応えしたい。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		4		構造化に加え、児童一人一人に合わせた環境設定をしている。女子トイレは車いす対応になっている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12					発達状況を踏まえ個々に合った支援や保護者のニーズ等を考慮し計画作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	1		1		小さなことも職員間で共有し、個々の支援に反映するよう話し合いをしている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		1	5		年に2回、全事業所や地域の方に声を掛け交流の場を設けている。今年はコロナ禍で開催できなかった。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					契約時に丁寧に分かりやすく説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	12					メールやお迎え時に口頭などで子どもの様子を伝えている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1				送迎時に話しやすい環境を作り助言や支援が出来るよう心掛けている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4		5	参加したことがないのでわかりません。	父母の会は開催していないが、イベント時に保護者同士の連携が取りやすい環境を作っていきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1		2		保護者の意見の内容に合わせて迅速に対応している。療育士とも連携を取り、保護者の要望があれば担当者会議を開いて対応している。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					保護者からの問い合わせには対応している。事業所からの発信が少ないと感じているので改善していきたい。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1				毎月の「お便り」にて活動や、日々の活動等発信している。またホームページにて評価結果を配信している。
	14 個人情報に十分注意しているか	12					メールのやり取りもあるので細心の注意を払っている。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8		1	3	説明はないため口頭でも説明して貰えると安心する。	保護者に対しての周知には説明不足を感じているので書面で知らせる等改善していきたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1		1	訓練の様子は広報等で見るが実際災害が起こりどこに避難したのかどこに迎えに行けばよいのか話しておいて欲しい。	隔月地震・洪水・火事を想定して行っている。また「お便り」にて避難訓練の様子が発信している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	3			・楽しみにしているため土曜日の日中一時も再開して欲しい。 ・お友達がなくて淋しい時もあるようです。	送迎時に気持ちを切替えられるようにしている。利用者の気持ちに寄り添い、楽しく参加出来るように支援している。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	1			いろいろな経験をさせてもらってありがたいです。	計画に沿って常に支援の方法を検討・見直しをして、職員間で共通理解をいきより良い支援を提供して行く。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。